

県建設人材育成リーディング企業

新たに79社を認定

労働環境の改善や人材育成に積極的に取り組む建設

業者を県が認定する「ぎふ建設人材育成リーディング企業」の第7回認定証授与式が県議会棟で開かれ、79社が認定を受けた。

認定制度は2017年に創設され、労働環境の整備や処遇改善など8項目の達成度に応じてゴールド、シ



ゴールドランク認定を受けた企業の代表者ら＝県議会棟

ルバー、ブロンズの3ランクに分けて県が認定している。期間は3年間。今回はゴールド20社、シルバー33社、ブロンズ26社が認定された。

式では、船坂徳彦県土整備部長が「若い人にとって魅力ある現場となるよう継続して取り組んでほしい」とあいさつし、ランクアップと新規のゴールドランク11社の代表者に認定証を手渡した。(山田雄大)

ゴールドランクの認定を受けた企業は次の通り。

▽建設業 大協建設(白川町) 神野産業(海津市) 佐竹組(養老町) 沢田建設(白川村) 篠田製作所(岐阜市) 新東建設(関市) 末永電気(揖斐川町) 第一建設(池田町) 大雄(各務原市) TSUCHIYA(大垣市) 巴産業(岐阜市) 内藤建設(同) 長瀬土建(高山市) 鳴海組(中津川市) 藤本組(多治見市) 松本電気設備(同) 丸ス産業(白川町) 丸成林建設(岐阜市) ユニオンテック(同)

▽建設関連業 飛州コンサルタント(高山市)